

ゴミの量が確定

2, 520 m³!!

～6月29日から7月1日の大雨で遠賀川
河口堰に流れてきたゴミの量です～

遠賀川河口堰上流左岸側（7月15日9:00撮影）



6月29日～7月1日の大雨
によって、遠賀川河口堰に
流れ着いたゴミを引き上げ
ました。

計測の結果、ゴミの量は、
はじめの予測を大きく上回
り**2,520m³に達しました。**

これは小学校の25mプー
ル(25m×10m×1m)で約10杯
分(大型ダンプトラック約200台分)にあたります。

分別状況（7月15日9:00撮影）



ゴミは、一度河川敷にあげてその後に手作業で、「草、木、カン、
ビン、ペットボトル、その他（家電・タイヤ等）」の6種類に分別
し、処分します。**分別・処分作業は、7月16日から約1ヶ月の
予定で作業を行っています。**

【この記者発表に関する問い合わせ先】

国土交通省 遠賀川河川事務所 管理課
課長 篠原 昌秀

国土交通省 遠賀川河川事務所 河口堰管理支所
支所長 中司 哲夫

TEL 0949-22-1830
係長 松本 秀一

TEL 093-201-1675
係長 深浦 貴之

(参考資料)

○近年のゴミ回収量

遠賀川河口堰は、水巻町と芦屋町にまたがる遠賀川最大（長さ517m）の可動堰です。遠賀川の最下流に位置する河口堰には、大雨が降って洪水になる度に遠賀川流域のゴミが大量に流れ着きます。その量は洪水の規模や回数に左右されますが、近年の河口堰で回収したゴミの量は下表のとおりで、処理費用は年間約2千万円程度です。

年 度	ゴミの量	日の出橋観測所 (直方市)
		最大流量 (m ³ /s)
平成11年度	2, 700 m ³	1, 487
平成12年度	1, 200 m ³	831
平成13年度	900 m ³ (堰全開操作有り)	2, 656
平成14年度	800 m ³	759
平成15年度	2, 600 m ³ (堰全開操作有り)	2, 533
平成16年度	3, 200 m ³	1, 151
平成17年度	600 m ³	1, 045
平成18年度	3, 400 m ³	1, 649
平成19年度	1, 340 m ³	937
平成20年度	2, 300 m ³	1, 539
平成21年度	2, 520 m ³ (7月16日現在)	1, 298

* 河口堰のゲート操作は、ゴミを下流に流出しないように細心の注意を払いながら操作していますが、平成13年度と平成15年度には非常に大きな洪水があり、安全のためゲートを全開しなければなりませんでしたが、実際に漂着したゴミの量は、上表の回収量より多かったと推定しています。堰下流から海の方へ流出したゴミは、海岸や漁港へ漂着して問題となりました。

○前回（平成21年7月2日）発表の1,000m³と今回の2,520m²の違いについて
前回発表の1, 000 m³は、7月1日現在の漂着ゴミの水面の面積（約250m×約20m）にゴミの水中の厚さを約20cmと想定していました。

しかし、回収の結果、水中の厚さは想定を上回る40～50cm程度となりました。

また、7月1日以降に漂着したゴミもあり、最終的には今回発表の2, 520 m³ となりました。